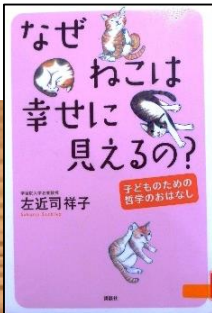
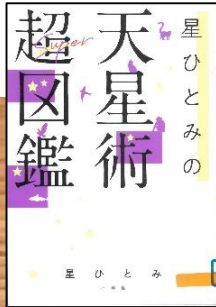


みどりの 翼

特集 ハッピー

だんだん春も近づき
暖かい陽ざしで、ハッピー☀
本も読んで、さらにハッピー♪

2024年3月 Vol. 85



なのビィ



発行：田原市中央図書館
(TEL：0531-23-4946)

自分らしくいられることがハッピーなこと！

「大江いづこは何処へ旅に」

尼野ゆたか／著 二見書房 2020年 913.6/777 751円



主人公の大江いづこは、元カレのことを引きずりながら、仕事にも集中できずに過ごしていました。ある日、露店で何気なく購入した安物のペンダントから、自称マルコ・ポロと名乗る男性が突然現れます。マルコから旅に出ることを勧められ、旅に出たいづこは、各地で様々な人と出会う中で、自分らしさを取り戻していきます。旅先は少しマイナーな場所で、読んでいて新たな発見がありますよ。

可愛くて楽しいナゾトキに挑戦しよう

「ちいかわナゾトキ」

ナガノ／著 講談社 2022年 798/1 751円



草むしり検定5級の特別試験に合格するため、協力しながら数々の謎を解いていくちいかわとハチワレ。はたしてその結果は…？「ちいかわ」と「ナゾトキ」という人気コンテンツ同士がタッグを組んだら、それはもうとても楽しいはず！と思い読んでみると…想像より難しかったです。ナゾトキをしながら物語が進んでいくので、ちいかわたちと一緒にナゾトキをしているような気分になりました。

いつでも「推し」と一緒！ ✧*。 ʘ(*'▽'*)ʘ ✧*。

「てづくり推しぬいBOOK」

平栗あずさ／著 グラフィック社 2022年 594.9/1 751円



「推し活」は人生を豊かにする手段の一つだと思います。推しぬいはお出かけにも連れていけるサイズなので、大好きな「推し」をより身近に感じられるアイテムです。ぬいぐるみと一緒に写真を撮る「ぬい撮り」にも使えますね。カラー写真や解説が充実していて、自分好みの推しぬいを作りたい人におすすめの本です。器用でなくてもよいのです。「手作りの愛着」は自分だけの特別なものですから。

猫のように幸せになるには、物分りの悪さが必要？

「なぜねこは幸せに見えるの？ 子どものための哲学のおはなし」
左近司祥子／著 講談社 2012年 104/頁 ライオン



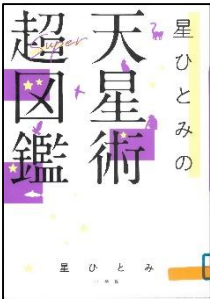
人間は家族や友達など、仲間を必要とします。でも時には窮屈に感じたり、辛くなったりすることもありますよね。人間にはどうして仲間が必要か、猫を40匹以上飼っている著者が、人間と猫を比べながら、優しく説明してくれます。

ずっといすの下に引きこもっていたクロダイという猫が、ある日出てきた話がとても素敵です。その理由は、私たち人間にとってもよくわかるものでした。

占いでハッピーに♪

「星ひとみの天星術超図鑑」

星ひとみ／著 小学館 2022年 148.8/頁 ライオン



占いは好きですか？星ひとみさんの天星術は、生年月日から560のタイプにわけて占います。誕生日さえわかれば友だちや家族、気になるあの子の性格を知ることができます。

ちなみに私は、月グループの「新月」です。「新月ってこんな人」のところには、もちろんいいことばかりは書いてないけれど、思い当たるふしが…！バグった時（＝運気が低迷した時）の行動が四コマ漫画になっていて面白いです。

中央図書館では、他にもオススメ本を展示しているので見に来てね☆

ミニにもほどがあるだろうコラム：「ハッピー」な話



米津玄師さんのシングル『KICK BACK』を何枚か持っていたので、CD担当に許可をもらって1枚寄贈で図書館所蔵にしました。すると私の予想を大幅に上回る、40件以上の予約が入ってびっくり！（2024/1/19現在）たくさんの方が興味を持ってきているのだなと嬉しくなりました。

4月からの朝ドラの主題歌を担当することも発表され、2024年も楽しいことがいろいろ待っていそうだなとワクワクしています。（司書N）

☆新着図書・この本読んで！☆

こんな民族衣装着てみたい♪

「心ときめく世界の民族衣装」

双森文/イラスト 産業編集センター/編 産業編集センター 2023年 383.1/冊 1700円



日本の着物、大韓民国のチョゴリ、ベトナムのアオザイなど、アジアの民族衣装は何となく知っていたのですが、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカの民族衣装は意外と知らないものが多い！！ことに気づきました。

民族衣装にはその土地の風土、民族や文化、宗教や歴史などが込められています。イラストと地理的背景、歴史的背景、服飾的な特徴が書かれていて、誰でも楽しめる1冊です。

原題は「I Must Betray You (きみを裏切らなくてはならない)」

「モノクロの街の夜明けに」

ルータ・セパティス/作 野沢佳織/訳 岩波書店 2023年 933/t 1700円



1989年、チャウシェスク大統領による独裁政治により、ルーマニアの人々は監視と密告と貧困に苦しんでいた。

17歳のクリスティアンは校長室でセクリターテ（秘密警察）に脅され、スパイ活動を命じられる。報酬は白血病で苦しんでいる祖父の薬だ。クリスティアンは、自分を陥れた人間が身近にいるのではないかと、友人のルカやずっと好意を持っていたリリアナを疑い始める。

怖い！！

「黒猫」

エドガー・アラン・ポー/著 立東舎 2023年 933.6/冊 1700円



「乙女の本棚」シリーズの34作目は、エドガー・アラン・ポーの『黒猫』です。幼い頃から動物が好きで、優しい主人公は結婚してからも沢山のペットを飼っていました。彼の一番のお気に入りには、プルートルと名付けられた黒猫でした。ところが、月日は流れ、酒に溺れるようになった主人公は動物や妻を虐待するようになります。そして泥酔して帰宅したある夜、事件は起こります…。